

# 企画展 杉浦非水 時代をひらくデザイン

## 2021年7月3日(土)～8月30日(月)

### 日本のグラフィックデザインのパイオニア ゆかりの地、石見で初めての回顧展

杉浦非水(すぎうらひすい・1876～1965)は日本の商業デザインの近代化に大きく貢献した人物です。愛媛県松山市に生まれ、東京美術学校で日本画を学びますが、在学中にフランス帰りの洋画家・黒田清輝がもたらしたアールヌーヴォー様式のポスターなどに魅せられ、図案家、今でいうグラフィックデザイナーとしての活動を始めます。

1908(明治41)年に三越呉服店に入社した非水は図案部初代主任をつとめ、1934(昭和9)年に退社するまで27年にわたり同店のポスターやPR誌のデザインを一手に担いました。

三越での仕事以外にも、様々なポスターや雑誌の表紙、本の装丁を手がけ、明治時代末期から昭和時代中期のデザインをリードしました。華やかでモダンなデザインは、現在も私たちを魅了し続けています。

本展では初期から晩年に至る非水の仕事を紹介すると同時に、交友の画家の作品や非水が収集した資料の展示により、その全貌をふりかえります。

\*作品の所蔵表記がないものは、全て愛媛県美術館所蔵



《東洋唯一の地下鉄道 上野浅草間開通》 1927(昭和2)年



《画帖(島根時代)》より「都の津」 1904年

### スケッチブックが語る、石見での日々

非水(当時は本名の「杉浦朝武」)は、1904(明治37)年4月から翌年11月にかけて島根県第二中学校(現在の島根県立浜田高等学校)で図画の教員をしていました。その頃のスケッチブックには石見の海や山、人々の暮らしなどが描かれており、非水の身の回りや、当時の石見のことが分かります。小さな画面から、約120年前にタイムスリップしてみましょう。

夏の旅行のお供に……  
杉浦非水の  
石見写生地マップを  
制作、配布予定!

- 【主催】 島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、毎日新聞社、BSS山陰放送
- 【後援】 芸術文化とふれあう協議会 【協賛】 ニューカラー写真印刷株式会社
- 【特別協力】 株式会社三越伊勢丹ホールディングス、東京国立近代美術館 【企画協力】 愛媛県美術館
- 【休館日】 毎週火曜日
- 【開館時間】 9:30～18:00(入館は17:30まで)
- 【観覧料】 [企画展] 一般:1,000(800)円、大学生:600(450)円、小中高生:300(250)円  
[企画・コレクション展セット] 一般1,150(920)円、大学生700(530)円、小中高生:300(250)円  
※( )内は、20名以上の団体料金  
[前売券] 一般:900円(企画・コレクション展セット)
- 【問合せ先】 〒698-0022 島根県益田市有明町5-15 島根県芸術文化センター「グラントワ」内 島根県立石見美術館  
TEL 0856-31-1860 FAX 0856-31-1884 <http://www.grandtoit.jp>  
担当: [広報] 吉岡、田原 [学芸] 川西

展示総数約300点! 明治・大正・昭和のモダンライフをいどった非水デザイン

### ポスター

高級呉服から食料品まで、  
ワクワクするイメージを展開



アールヌーヴォー調で  
ゴージャスな美的生活を演出  
《三越呉服店 春の新柄陳列会》  
1914(大正3)年



キュートな動物たちも活躍!  
《爽快美味滋強飲料 カルピス》  
1926(大正15)年



お醤油だって、こんなにポップに!  
《ヤマサ醤油》 1920年代

### 雑誌と書籍 時に優美に、時にクールに……手に取りたくなる魅惑のブックデザイン



(左から)  
『みつこしタイムス』  
第8巻第5号  
1910(明治43)年  
『ツーリスト』第18号  
1916(大正5)年  
『現代日本文学全集 第十一編  
正岡子規集』(並装版)  
1928(昭和3)年 個人蔵



三越の「顔」、非水の表紙  
が毎号楽しみなPR誌



シンプルに日本の観光を表現、  
ジャパン・ツーリスト・ビューロー  
(JTB)の機関紙

アールデコ調でいどる、  
同郷の俳人・子規の全集

### デザインをひろめる活動

トップランナーとして普及活動にも尽力



『アフィッシュ』第1年1号  
1927(昭和2)年  
日本初のデザイン研究団体  
「七人社」のポスター研究雑誌



『非水創作図案集』1926(大正15)年  
デザインのお手本「図案集」を多数発行。  
芸術版画と植物図譜の融合「非水百花譜」はその白眉!



『非水百花譜』  
1929-34(昭和4-9)年  
より「木蓮」